



## 今後の活動予定

- ◆<第67回例会> オルガンとソプラノでつづるスラヴ音楽  
マリア・マグダレナ・カチョル オルガンリサイタル  
with 松井亜樹

日時：8月16日 午後2時（開場 30分前）  
場所：北大クラーク会館講堂

- ◆<第68回例会> ヴィトルト・ルトスワフスキ  
生誕100周年記念レクチャーコンサート

日時：10月15日（水）<企画中>  
場所：札幌大谷大学百周年記念館同窓会ホール  
お話：ズビグニェフ・スコヴロン  
（ワルシャワ大学史学部音楽学科教授）



- ◆<後援事業> ブロニスワフ・ピウスツキ  
記念碑建立イベント

### <記念碑除幕式>

日時：10月19日  
場所：アイヌ民族博物館  
（白老郡白老町）



### <国際セミナー>

日時：10月20日  
場所：北大学術交流会館  
「ポーランドのアイヌ研究者ピウスツキの  
仕事 -白老における記念碑建立を期に-」



※ 只今準備中のため、変更の可能性があります。  
ご了承ください。詳細は後日お知らせします。

## 新入会員のご紹介

7名の方々が新たに会員  
になりました。どうぞ宜しく  
お願いいたします。  
（事務局）

青木 緑 さん  
秋田正恵 さん  
新井藤子 さん  
藤野知明 さん  
水上さえ さん  
本谷英一 さん  
山本弘子 さん  
（五十音順）

<連載俳句>



ポーランド & ニッポン歳時記



聞魚ぬる真昼のBARの真中に

（聞魚三夏）

千代磨

蟻うごき農夫も動く日なかな

（蟻三夏）

風わたるゴツホをおもふ麦の秋

（麦の秋三夏）

<岩見沢市在住。霜田千代磨さん>

1992年より作句する。伝統俳句協会会員。現代俳句協会会員。北海道俳句協会選者。「夏至」同人。

## 木婚式

ポーランドでは5年毎に結婚記念日を祝う習慣があります。ちょうど結婚五周年を迎える今年、日本の家族とお祝いをする予定を立てていましたが、ポーランドを発つ前にあちらの家族や友達も祝ってくれました。皆の前で結婚の誓いの言葉を改めて交わしました。その時には、まさか札幌の友達にも祝ってもらうことになるとは夢にも思いませんでした。自分の人生の小道を、驚きをもって見つめています。

mój nauczyciel  
i moja uczennica  
jemy soba na zimno

我が先生と教え子と  
啜るざるそば



<ポズナン市在住。ポーランド人女性

津田モニカさん>

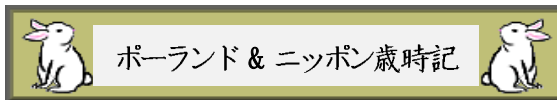
幼いころから文学に親しみ、特に日本の文学に興味を覚える。俳句は三年前から詠みはじめる。

# POLE

第79号 ポーレ編集委員会  
<http://hokkaido-poland.com/>

氏間多伊子 栗原朋友子  
佐光 伸一 ラファウ・ジェブカ

## 今後の活動予定



### ◆<第65回例会> ポーランド映画セレクションⅢ ◆

日時：6月8-9日(土-日)

場所：札幌プラザ2・5(狸小路5丁目)



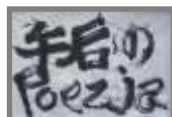
マチェイ・ドレイガス監督(ウッチ国立映画大学)、  
ヴィタ・ジェラケヴィチュテ監督(同上)、  
久山 宏一(東京外国語大学)をゲストにお迎え  
します。詳細は回封のフライヤーをご覧ください  
き、お問い合わせのうえご参加ください!

### ◆<第66回例会> 朗読会「午後のポエジア」◆

日時：6月29日(土)

開演：午後2時(開場30分前)

場所：北大クラーク会館3F  
国際文化交流活動室



※ 詳細は4ページをご参照ください。

申し込み: 不要。直接会場へお越し下さい。

### ◆<第67回例会> パイプオルガンによる演奏 ◆

(仮題)「カチオルさん さよならコンサート」

日時：8月16日 午後

場所：北大クラーク会館講堂(予定)

カチオルさんへの感謝の気持ちをこめて、当協  
会が「日本アレンスキー協会」と共催。詳細は追  
ってお知らせします。どうぞお楽しみに!

## 新入会員のご紹介

坂田朋優さん、横田正樹さんが入会されました。  
どうぞ宜しくお願ひ致します。(事務局)

## 会費納入に関する大切なお知らせ

(2012年10月~2013年9月分)

当会は皆様からの年会費のみで運営されています。  
この度財政の見直しにより、今後は払込時の送金手数料  
をご負担していただくことになりました。

(ゆうちょ銀行口座からATMによる振替は無料です)  
ご理解のほど、よろしくお願ひいたします。

【郵便振替口座】02740-5-19735

北海道ポーランド文化協会

◆普通会員(年額) 3,000円 ◆維持会員(年1口)  
5,000円 ◆学生会員(年額) 1,500円

蛇となり遊びせんとや初山河  
(初山河「新年」)

兔汁スメルジャコフの臭して  
(兔汁「三冬」)

ハルビンの街なつかしや蝦夷黄砂  
(黄砂「三春」)

千代磨

<岩見沢市在住。霜田千代磨さん>

1992年より作句する。伝統俳句協会会員。現代俳句協会会員。北海道俳句協会選者。「夏至」同人。

吾が家の近くに教会があり、その裏には公園があります。よくそこで散歩をします。今回、突然もう春だということに驚かされました。つい最近まで、季節が変わる気配などまったくなかったのです。

無防備に陽浴びて強し桜の芽

wiśniowe pąki  
na bezbronnej gałęzi  
tak silne słońcem



実を結べ花散りばめし杏子の樹

czy wyda owoc?  
obsypane kwiatami  
drzewo moreli



Yōseki

<ボズナン市在住。ポーランド人女性 陽石さん>

幼いころから文学に親しみ、特に日本の文学に興味を覚える。俳句は三年前から詠みはじめる。



## 今後の活動予定

- ◆<第64回例会>ジャズライブ de ポランスキー  
～傑作短編セレクション&ジャズ～

12月4日(火) 19時～

札幌プラザ2・5(狸小路5)

※ 詳細は同封のフライヤーをご覧ください、お誘い合わせのうえご参加ください!

- ◆<第64回例会> ポーランド映画セレクションⅢ

2013年 5月25-26日(土日)

北大学術交流会館講堂 予定

今年度もどんどん活動します!

皆様のご理解とご支援を宜しくお願い致します。  
サポーターも随時募集します。

## 新入会員のご紹介

阪本ひろむさん(10月)、奥村喜久美さん(11月)が入会されました。どうぞ宜しくお願い致します。

(副事務局長・栗原)

## 新年度の会費納入のお願い

(2012年10月～2013年9月分)

当会は、皆様からの年会費のみで運営されています。  
本年度分の会費の納入を同封の払込票をご利用の上、宜しくお願いいたします。

【郵便振替口座】

02740-5-19735

北海道ポーランド文化協会

- ◆普通会員(年額)3000円
- ◆維持会員(年額1口)5000円
- ◆学生会員(年額)1500円

お早めの納入を宜しく  
お願い致します。



受付



ポーランド & ニッポン歳時記



ワルシャワや猫の鳴き声霜の城

(霜の城・秋)

千代磨

秋の陽を浴びてヴィスワの都鳥

(秋の陽・秋)

人ほろびず大地ほろびず天高し

(天高し・秋)

アンテナに冬入り会議の鴉かな

陽石

冬に向けて

ポーランドの新学期は十月に始まる。十一月は授業が行われる一方で、会議も多い。それは、十二月になるとクリスマス休暇があり、時間がないうころへ持つてきて、新年に向けた準備をしなければならぬからである。夫が午後の会議にしばしば出かけるので、ふと周りじゆうが冬に向けて準備を始めたような気がする。

Na dachu kamienicy  
Na antenie zebranie  
Kruków przed zimą

<ボズナン市在住。ポーランド人女性 陽石さん>

幼いころから文学に親しみ、特に日本の文学に興味を覚える。俳句は三年前から詠みはじめる。

# POLE

第77号 ポール編集委員会  
<http://hokkaido-poland.com/>

氏間多伊子 栗原朋友子  
佐光 伸一 ラファウ・ジェブカ

五・七・五の17音を定型とする短い詩〈俳句〉。  
ふたりの俳人“陽石”と“千代麿”による連載



## ポーランド & ニッポン歳時記



〈ボズナン在住。ポーランド人女性 陽石さん〉

幼いころから文学に親しみ、特に日本の文学に興味を覚える。俳句は三年前から詠みはじめる。

〈岩見沢市在住。霜田千代麿さん〉

1992年より作句する。伝統俳句協会会員。現代俳句協会会員。北海道俳句協会選者。「夏至」同人。



ポーランドの夏休みは、野菜や果物の収穫期、そしてそれらを冬に備えて瓶詰めにする時期でもある。特に8月は、胡瓜の採れる頃で、「胡瓜シーズン」と呼ばれる。ポーランドの美味になつている「腐った胡瓜」は、胡瓜の漬物で、ニンニクと西洋ワサビ、イノンドというハーブで風味をつける。秋と冬の長い夜には、夏の欠片の詰まった瓶を開けるのが、ちよつとした楽しみとなる。

### ラズベリー小瓶の中の夏休み

słodkie maliny  
smak wakacji zamknięty  
w małym słoiczku

### 夏来たり苺ミルクの香る朝

ranek pachnący  
mlekiem i truskawkami  
początek lata



### 道端に林檎の熟みて奢る夏

jabłka się psują  
na ulicy opadłe  
rozzutność sierpnia  
soczyste słońcem



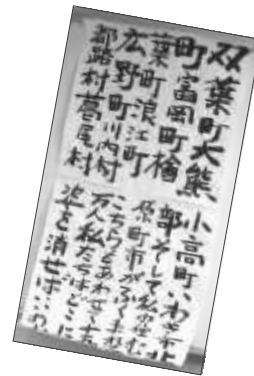
### 婚宴に天も涙す夕立かな

przyjęcie ślubne  
wzruszone niebo płacze  
wieczornym deszczem

ふくろうの湯てふ温泉の

ガマの穂や

(ガマの穂 晩夏)



開拓の

み霊送りの

ガンピの火

(み霊送り 初秋)



吾不明人生不明すだく蟲

(すだく蟲 三秋)



書 (しもだ・ちよまる) 上から  
福島町の名 神隠しされた街 午後のPoezja  
—「午後のPoezja」会場展示から—

# 今後の活動予定



- ◆<第25回>総会  
10月下旬～11月上旬 場所未定
- ◆<第63回例会> 創立25周年記念イベント  
企画中
- ◆<第64回例会> ポーランド映画セレクションⅢ  
2013年 5月25-26日(土日)  
北大学術交流会館講堂 予定



HOME 当協会のホームページを開設しました!

<http://hokkaido-poland.com/>  
または  
「北海道ポーランド文化協会」で検索!

遅ればせながら、当協会のホームページを開設いたしました。ポ文協の活動を、北海道に限定することなく、日本全土、そして全世界に広く情報発信していくつもりです。

これから内容を充実させていく予定ですので、ぜひお楽しみに。情報提供をご希望の方は、ぜひお気軽に事務局までご連絡ください。(事務局)

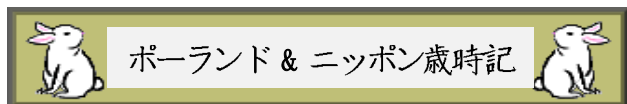


ポーレ編集委員会では、今後さらに多くの方の参加による紙面の充実を考えています。「旅の思い出」「友人との交流」「好きな映画」「好きな作家」などポーランドに関することでしたら、テーマや字数は自由です。是非事務局にご相談ください。(編集委員・柏木)

## 新入会員のご紹介



和泉 聡さん、塚本智宏さん(5月)が入会されました。どうぞ宜しくお願い致します。(副事務局長・栗原)



影動く怪盗ルパン空に鷹

(鷹―冬)

千代磨

春風やブリキの太鼓てんてけと

(春風―春)

沢蟹も独活ももってけ浜漁師

(沢蟹―夏)

<岩見沢市在住。霜田千代磨さん>

1992年より作句する。伝統俳句協会会員。現代俳句協会会員。北海道俳句協会選者。「夏至」同人。

犬も吠ゆ噴水に落ちたる針鼠

陽石

二〇一三年、時折ではあるが、すっかり日の暮れた時刻に、わが家の前の小道で針鼠に出会っている。なかなか愉快な近所である。また友人からも、針鼠の一家が彼女の庭に引越してきたと聞いた。ある時、犬がけたたましく吠え出した。見ると、父さん針鼠が庭の噴水に落ちていたのだ。こうして、犬に救われた針鼠であった。



czerwcowy ogród  
pies szczeka przy fontannie  
na jeża w wodzie Yōseki

<ボズナン市在住。ポーランド人女性 陽石さん>

幼いころから文学に親しみ、特に日本の文学に興味を覚える。俳句は三年前から詠みはじめる。

# POLE

第75号 ポーレ編集委員会

氏間多伊子 / 柏木由美子 / 栗原朋友子  
佐光伸一 / ラファウ・ジェプカ



## 今後の活動予定

◆<第 60 回例会> ポーランド映画セレクションⅡ

5月5-6日(土日) 10:30~

北大学術交流会館講堂

全7作品&ワークショップ

◆<第 61 回例会> 創立 25 周年ピアノコンサート

5月12日(土) 13:30~

札幌コンサートホール Kitara 小ホール

◆<第 62 回例会> ポーランド文学朗読会

6月16日(土) 14:00~ 只今、出演者募集中!

北大国際文化交流活動室(クラーク会館 3F)



### ポーランド 広報文化センターが 東京に開設

昨年11月、ラドスワフ・シコルスキ・ポーランド共和国外務大臣の決定により、東京の駐日ポ

ーランド共和国大使館内にポーランド広報文化センターが開設された。このセンターはポーランド共和国外務省直属の機関であり、広報外交・文化外交等におけるポーランド共和国大使館の活動支援を目的としている。

日本は、ポーランドの重要な政治、経済、文化的パートナーであり、センターの開設は世界で22番目、東アジアでは初めて。背景には、2009年の日本・ポーランド国交樹立90周年、2010年のショパン・イヤー、2011年のポーランドの欧州連合理事会議長国就任を記念し、様々な事業が展開されたことからポーランドの文化・学術が日本において広く紹介、普及されるようになったことが関係している。

<http://instytut-polski.org/>



### 新入会員のご紹介

竹田 真司さん(4月)が入会されました。  
どうぞ宜しくお願い致します。(副事務局長・栗原から)

北窓を開ければそこは北の海

(季語「北窓開く」)

千代麿

旧市街木玉子絵卵イースター

(季語「イースター」)

冬風や髭のニツカの香はいかに

(季語「冬風」)

<岩見沢市在住。霜田千代麿さん>

1992年より作句する。伝統俳句協会会員。現代俳句協会会員。北海道俳句協会選者。「夏至」同人。

復活の街に白雪聖骸布

しらゆき

陽石

復活祭は冬から春への過渡期でもあります。もし永遠の命という視点があれば、無季語の俳句を詠んでもいい理由になるでしょうか?

Po zmartwychstaniu  
Ściele się całun biały  
Śnieg na ulicy

Yōseki

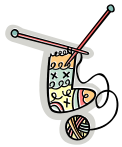
<ポズナン市在住。ポーランド人女性 陽石さん>

幼いころから文学に親しみ、特に日本の文学に興味を覚える。俳句は三年前から詠みはじめる。



## 今後の活動予定

- ◆<第 59 回例会>～ 講演会 ～  
「樺太のポーランド人の軌跡」参加無料  
3月31日(土) 14:00～  
かでの2・7 510会議室
- ◆<第 60 回例会> ポーランド映画セレクションⅡ  
5月5-6日(土日) 只今、作品選定中！  
北大学術交流会館講堂
- ◆<第 61 回例会> 創立 25 周年ピアノコンサート  
5月12日(土) 13:30～  
札幌コンサートホール Kitara 小ホール
- ◆<第 62 回例会> ポーランド文学朗読会  
6月16日(土) 14:00～ 只今、出演者募集中！  
北大国際文化交流活動室(クラーク会館 3F)



## 新入会員のご紹介

霜田 英磨さん(11月)が入会されました。  
どうぞ宜しくお願い致します。(副事務局長・栗原から)

駐日ポーランド大使館+シアターX  
能形式による戯曲(詩劇)「鎮魂」

2012年3月5日(月)18:00～

シアターX(カイ)

(東京都墨田区両国 2-10-14 両国シティコア内)

新作能『鎮魂』(2013年上演)のための  
プレリュード<能形式による詩劇>

ふくしま および ホロコースト

—犠牲者追悼の夕べ プレリュード—



ヤドヴィガ・ロドヴィッチ-チェホフスカ女史=写真=(駐日ポーランド共和国特命全権大使)は、元女優でもあり、著名な能研究者でもいらっしゃいます。昨年2月、ワルシャワの劇場と東京の国立能楽堂にてショパン生誕200年を記念し「ポーランドの能」第一弾の『調律師-ショパンの能』を上演しました。(POLE 第69号10ページ掲載)昨年3月の東日本大震災を経て、ロドヴィッチ大使は「ふくしま」および「ホロコースト・戦争」の悲劇を記憶する詩劇として、第二弾の新作能『鎮魂』を書き上げました。この詩劇をロドヴィッチ大使ご自身と能と狂言の演出を多く手掛ける演出家・笠井賢一氏とが朗読します。

<連載俳句>



ポーランド & ニッポン歳時記



大ジャンプ

アンダー

u  
21  
の  
冬

千代磨



<岩見沢市在住。霜田千代磨さん>

1992年より作句する。伝統俳句協会会員。現代俳句協会会員。北海道俳句協会選者。「夏至」同人。



冬の陽を

眺めて滲む

涙かな

陽石

今年の冬は、白く染まったのも初めのうちだけだった。その後はとにかく灰色で、暗くて、寂しい。だから、ごく稀にしか姿を見せない太陽は、とても眩しいのだ！

zimową porą

spojrzałam prosto w słońce

łzy napłynęły

Yōseki

<ポズナン市在住。ポーランド人女性 陽石さん>

幼いころから文学に親しみ、特に日本の文学に興味を覚える。俳句は三年前から詠みはじめる。

POLE

第73号

ポーレ編集委員会

氏間多伊子/柏木由美子/栗原朋友子  
佐光伸一/ラファウ・ジェブカ

ればならない。「大人になるための試験」は今や「競争のための試験」となり、より良い大学に進学するための試験へと性質を変えている。「卒試」で高い点数を取めた学生ほど、難関大学に進学でき、志望の大学が要求する条件(科目、「レベル」、点数)を満たしても、他の受験生との競争に負ければ、志望を変えるか、浪人をするしかない。バンド「色彩論 Farben Lehre」の 2001 年のヒット曲「卒試 2001 年 Matura 2001」には、すでにその兆しが見て取れる。

俺の彼女は今日、卒試  
俺のための時間なんて全然ない  
毎晩寝ないで、滅茶苦茶ビビって  
俺の彼女が可哀そう  
[…]

<sup>ダチ</sup>  
俺の友達は今日、卒試  
飲みに行く時間なんて全然ない  
目なんか腫らして、喉はカラカラ  
若い魂が可哀そう



より良い大学は、より良い職を約束する。より良い職は、より良い将来を約束する。より良い将来は、幸せを意味する。一昔前、日本で騒がれていたのと似た図式が、ここには見られる。高学歴を求める社会や家族からの無言の圧力もある。今やポーランドも同じ轍を歩み始めている。

当然ながら、競争は「卒試」の点数と大学の入学審査とだけに留まっていない。今の日本を見れば分かるように、徐々に、どこまでも低年齢化していく。現にポーランドでも、すでに高校入学の競争が激しくなりつつある。より良い大学に入るためには、より良い高校に入らなければならない。その競争に勝つためには、中学校の時から準備し、「中学修了試験」で良い点を取らなければならない。「卒試」を受ける高校生だけでなく、今や中学生の間にも、塾や家庭教師を利用する者が増えていると、例の知人は話してくれた。

こうして、変化は一向に止む気配がない。

今年(2011 年)9 月からは、5 歳児の「準備教育」が義務化された(小学校は6歳から始まる)。ポーランドのすべての子供は、5 歳を終える年の 9 月から、1 年間の「準備教育」を受けなければならなくなった。この「準備教育」は、幼稚園の最年長クラスとして設けられる場合もあるが、小学校の最年少クラスとして設けられる場合もあることから、俗に「0 学年 zerówka」と呼ばれる。幼稚園と小学校のどちらの「0 学年」に通うかは、両親の選択に任されている。「0 学年」が義務化された理由としては、人口統計学上の問題(つまり、少子化に伴う就学人口の減少)が主に言われているが、子供たちが 1 年早く学

歴社会に組み込まれ、教育の競争社会がさらに低年齢化することだけは間違いない。

「中学修了試験」も、来年(2012 年)からは試験時間が長く、つまり問題量が多くなることが、すでに決まっている。

「卒試」は、今のところ(発表されている限りでは)来年も大きな変化はなさそうである。が、再来年以降については、まだ発表されておらず、分からない。

ここに紹介した内容も、あと数年経てば、もしかしたら来年にはすでに、過去のものとなり、有効でなくなっているかもしれない。毎年のように、変化の上に変化を重ね、しかもまだ治まる気配の見えない中で、いったい誰がこの全てを、経緯や履歴も含めて、現在進行形で把握しているのか、疑問に思ってしまうと同時に、次第だいに加速度を増し、だんだん忙しくなっている感の否めない最近のポーランドの教育界である。

つだ・てるみち(ボズナン外国語大学講師)



津田晃岐さん || 写真左 || と、  
次ページ俳人のポーランド  
人女性・陽石さん || 写真右 ||  
はご夫婦です。

ポーランドに来て以来、夫は私立大学で日本語を教えている。家で準備をし、授業を行ない、いつも遅くに帰ってくる。「教師の日」にもそうだった。「教師の日」は、新学期が始まって間もない 10 月 14 日で、休日ではないものの、国家の祝日である。教師を称えるために制定された。20 世紀の末に正式に導入されたが、その起源は 18 世紀、教育改革に熱心だったポーランド最後の国王スタニスワフ 2 世アウグストの治世にまで遡る。

津田陽石 (つだ・ようせき)

jesienna pora  
dziś Dzień Nauczyciela  
Ty jeszcze w pracy

Yōseki

秋の来て  
教師の日や君  
まだ職場





# ポーランド & ニッポン歳時記



〈ポズナン市在住。ポーランド人女性 陽石さん〉

幼いころから文学に親しみ、特に日本の文学に興味を覚える。俳句は三年前から詠みはじめる。

〈岩見沢市在住。霜田千代磨さん〉

1992年より作句する。伝統俳句協会会員。現代俳句協会会員。北海道俳句協会選者。「夏至」同人。

線路の果てまでも  
沈む陽と競うや

ściga się pociąg  
ze słońcem zachodzącym  
na skraju świata

jaki tu spokój  
za ukwieconym polem  
Chatka pod lasem

花越しの  
森際も小屋  
静かなり

牧草の汁に  
夏噛みしめる  
ホルスタイン

w trawie soczystej  
latem sie rozkoszuje  
krowa laciata



小樽祝津の白鳥番屋で開催（10/11-25）された「加島祥造詩画展」での加島祥造（かじま しょうぞう）さん（左）と筆者。加島氏は長野県伊那谷で詩と画作の暮しを営む詩人、翻訳家、タオイスト、墨彩画家。心の平静を重んじる中国古代の哲学者老子の思想をやさしい言葉や絵で表現している。

秋の風コト・コト・コットン 子は出窓

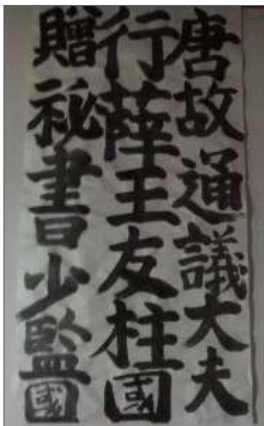
（幼少期、母の秋仕舞いを窓から見てみた）

良寛の郷の新米にぎりめし

（東京の寺の坊守実家から）

秋風や船のりサキノフ南画展  
秋風や祝津へつづくタオの道

（加島祥造さんとの縁を慶ぶ 二句）



書（しもだ・ちよまる）

井上有一「顔氏家廟碑」千代磨 臨 =写真左=  
創作「玄」 =写真右=  
エゴン・シーレ 作品 =写真上=



五・七・五の17音を定型とする短い詩〈俳句〉。  
ふたりの俳人“陽石” & “千代磨”による〈新連載〉がスタートします。

ポーランド & ニッポン歳時記

〈ポズナン在住。ポーランド人女性 陽石さん〉

幼いころから文学に親しみ、特に日本の文学に興味を覚える。俳句は三年前から詠みはじめる。

家々の間<sup>あいた</sup>を猫の春探し

koty wędrują  
między kamienicami  
szukając wiosny



錠を手に

鍵屋を探す

春陽気

z zamkiem przez miasto  
wędruję do ślusarza  
w marcowym słońcu

小莓の

ゆるりと熟す

賢さや

jest wielka mądrość  
w powolnym dojrzewaniu  
małej truskawki



棕鳥め!

桜桃守る

少女かな

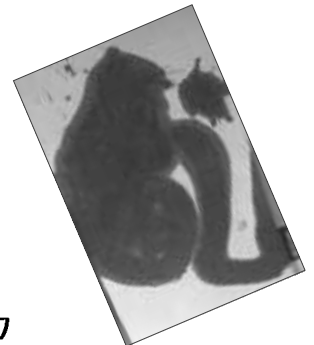
szpaki latają  
dziewczyna pod gałęzią  
czereśni strzeże

〈岩見沢市在住。霜田千代磨さん〉

1992年より作句する。伝統俳句協会会員。現代俳句協会会員。北海道俳句協会選者。「夏至」同人。

大鎌をふり上ぐ大地  
夏至の天

(季語・夏至の天)



カッコウと啼く郭公の大気温

(季語・郭公)

クラークの目線の先の花野かな

(季語・花野)



曇天や

ワタシの名前

クレマチス

(季語・鉄線)



書 (しもだ・ちよまる) 上から

「乱」—創作—

カイキョウ カクヨウ

「開 匈」「赫 耀 (赤々と光がおどるさま)」

—顔真卿の裴將軍詩の文字から—

許へ来てくれて、どうもありがとう」と言ったという。

この言葉を題に冠した映画『あなた達を探していた』が今年3月に封切られた。ヨハネ・パウロ2世について、その在位中の各国訪問や巡礼旅行について描いたドキュメンタリー映画だが、特に教皇と若者達との交流にスポットライトを当てている点が面白かった。

ヨハネ・パウロ2世の映画に関しては、もう一つ、私にとって忘れられない経験がある。ヨハネ・パウロ2世との不思議な縁を感じる経験である。

2008年、ポーランド人枢機卿スタニスワフ・ジヴィシュの回想記『証言 Świadectwo』が映画化された。ジヴィシュ枢機卿は、ヨハネ・パウロ2世がまだ枢機卿だった時代からその秘書として、共に生きてきた人物である。彼の「証言」を基にしたドキュメンタリー映画の再現シーンに、私がフランシスコ会修道士の役で出演することになった。

ヨハネ・パウロ2世は、在位中に100カ国以上を訪問したことで知られるが、訪問先でミサを行う際には必ず、説教やスピーチの一部あるいは全部を、現地の国語で行うのが常だった。実際、1981年に日本を訪問した際も、日本語で説教をしている。そしてその時、教皇に日本語を教えたのが、フランシスコ会の西山達也神父だった。

映画の中で、私は「教皇」に日本語の祈りの一

### 西山達也神父の著書

「日本語で話しつづけた教皇  
ヨハネ・パウロ二世」

日本語習得のご様子、来日時のエピソードとともに、その後のパチカンの毎週水曜日の一般謁見において、特別に日本人巡礼団に向かって”日本語”で話された13年間約250回分のスピーチを収録



節を教えた。それは、ミサの福音朗読後に司祭が小声で唱える祈り、「神の言葉によって、私達が清められますように」というものだった。現在は洗礼を受けてカトリック教徒になっている私にとって、10年以上も前に摺れ違ったヨハネ・パウロ2世との意外な形の出会いだった。

ヨハネ・パウロ2世がその最初の説教で訴えた通り、今や国境は開かれた。イデオロギーの対立は終結し、ポーランドも豊かになった。しかし、今のポーランドがヨハネ・パウロ2世の期待した方向へ進んでいるかどうかは、分からない。それこそ、「JP2世代」、そしてさらに若い世代に掛かっているのだろう。今年2011年8月には、スペインのマドリードで次の「ワールド・ユース・デイ」が開かれ、ベネディクト16世と世界中からの若者達とが出会うことになっている。

つだ・てるみち(ポズナン外国語大学講師)

### <新連載> ポーランド歳時記

Nadleciał gołąb

I przysiadł na balkonie

- więc to już wiosna!

Yōseki



ポーランドの冬は寒いだけでなく、長くて暗い。雪もよく降る。今年の冬もそうだった。ある日のこと、鳩が突然ベランダに飛んできた。三年前の春を思い出す。番いの鳩が我が家のベランダに空の植木鉢を見つけると、巣を作り、卵を産み、二羽の雛が孵った。夫と二人で見守るうちに、雛は育ち、やがて巣立っていった。

ベランダに  
降り立つ鳩と  
春は来ぬ  
陽石

<ポズナン在住ポーランド人女性“陽石”さんから届いた俳句>幼いころから文学に親しみ、特に日本の文学に興味を覚える。日本文学について教えるかわら、ポーランド語への翻訳にも携わる。自らの詩作を雑誌に発表し、俳句は三年前から詠みはじめる。生花を趣味とし、草月流の雅号も「陽石」を名乗る。

ティシュキエヴィッチ書記官、  
朝鮮民主主義人民共和国へ行く  
(2011/05)

POLE印刷日の前日に届いた写真。  
ひとまず、写真のみで近況をお知らせ  
します。ラデックありがとうございます！

